



令和4年度 基本評価調書①		所管部局	環境生活部	所管課	アイヌ政策課		
施策名	アイヌ文化の振興			施策コード	0314		
政策体系(中項目)	ふるさとの歴史・文化の発信と継承			政策体系コード	3(4)A		
関連重点戦略計画等	知事公約 創生総合戦略					事務事業数	7
SDGs					総合判定	順調	
予算額(千円)	R 4	550,509	R 3	508,708	R 2	746,475	

施策目標	【アイヌ文化の保存・伝承、理解促進、発信強化】 ・アイヌ文化の保存・伝承を促進し、アイヌ文化の振興を図るとともに、アイヌの人たちの伝統や文化に関する理解の促進に取り組む。 ・国により「ウポポイ(民族共生象徴空間)」が開設されたことや、東京オリンピック・パラリンピック競技大会などを契機にしながら、アイヌ文化の発信を強化する。					
現状と課題	・アイヌの人たちは長い歴史の中で民族として独自の伝統や文化を培ってきたが、伝承者の高齢化などからアイヌ語やアイヌ文化の保存・伝承が急がれる状況にあることから、アイヌ文化を次世代に継承することができるよう、その保存・伝承を促進し、アイヌ文化の一層の振興を図るとともに、道民への理解の促進を図る施策を推進する必要がある。					
前年度二次評価意見						対応状況(R4.3時点)

	今年度の取組	実績と成果
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ウポポイの具体的な魅力の発信による誘客促進、ウポポイの開業効果を全道に波及させるため、縄文遺跡や食などの地域資源と連携させて道内のアイヌ関連施設の来訪につなげる取組 アイヌ工芸品の認知度向上や販路拡大などのアイヌ文化の振興 東京2020オリンピック大会で披露したアイヌ文化発信パフォーマンスをオリンピックレガシーとして継承する取組 「イランカラプテ」キャンペーンなど関係機関・団体等と連携した取組及び独自の取組 	<ul style="list-style-type: none"> 全道のスポーツチームや音楽フェスなどと連携した、ウポポイを始めとする道内のアイヌ文化施設のPRを実施(R3 コンサドレー等道内スポーツチーム9チーム、ROCK CIRCUIT2021 in EZO等道内3イベントと連携) アイヌ文化関連施設等バーチャルガイド事業によるアイヌ文化関連施設情報の発信(R3 49箇所) 新たなアイヌ工芸品の商品「アイヌ・プロダクツ」の開発(R3 1点) 東京2020オリンピックにおけるアイヌ文化発信パフォーマンスのプログラムの披露(R3 マラソン・競歩競技前 計5回) 「イランカラプテキャンペーン」巡回展示への支援(R1~3 各5箇所)

連携状況	<p>庁内に設置した「アイヌ施策推進連絡会議」において、国に要望するアイヌの人たちの生活向上等に関する推進施策について協議し、情報共有することにより、今後のアイヌ施策に関して庁内関係部局との連携が図られた。</p> <p>国や財団と連携し、ウポポイの誘客促進はもとより、その効果を道内各地に波及させるとともにウポポイ官民応援ネットワークに参加する223企業・団体の創意工夫したアイヌ文化の発信に関する取組により、道内の経済活性化や地域振興にもつなげていく。</p>
緊急性優先性	<p>アイヌ施策推進法に基づき国民に対する正しい理解の促進を図り、アイヌの人たちに対するいわれのない差別の解消に努めるとともに、アイヌ政策推進交付金予算の十分な確保、国が掲げるウポポイの誘客目標の達成に向けたウポポイの魅力向上や誘客促進の取組などについて、国に対して、提案・要望を実施している。</p> <p>(アイヌ政策推進交付金予算額 R2 20億円、R3 20億円、R4 20.5億円) (ウポポイ誘客数R2 222,794人、R3 190,618人、R4.7 143,591人)</p>

令和4年度 基本評価調書②	施策名	アイヌ文化の振興	施策コード	0314
----------------------	------------	----------	--------------	------

〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載

指標名①	増加	%	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
「アイヌ民族が先住民族であること」の認知度	目標値		-	-	88	98	100.0%	A
	実績値		-	-	88	-		
設定理由	アイヌ施策の目標である「全ての道民が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資する」という観点に立ち、「アイヌの歴史・文化に関する理解の促進」に係る取組の成果を測る指標として設定。※指標値について、内閣府の調査結果を引用していたが、令和3年度より道民意識が反映される道実施の「北海道の人口減少などに関する意識調査」を使用する。							
分析（主な取組と成果）								
アイヌの考え方や言葉を学びながら理解を深めるための幼児向け人形劇と、アイヌの歴史や文化をテーマにした一般向け啓発動画の配信などにより、R3実績値は目標通り推移しており計画どおり進捗している。								

指標名②	増加	%	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R6)	達成率	指標判定
「アイヌの人たちが独自の伝統や文化を培い、伝えていること」の認知度	目標値		-	-	86	98	102.3%	A
	実績値		-	-	88	-		
設定理由	アイヌ施策の目標である「全ての道民が相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資する」という観点に立ち、「アイヌの歴史・文化に関する理解の促進」に係る取組の成果を測る指標として設定。※指標値について、道民意識が反映される道実施の「北海道の人口減少などに関する意識調査」を使用する。							
分析（主な取組と成果）								
全道のスポーツチームや音楽フェスなどと連携した道内のアイヌ文化施設のPRや、アイヌ文化関連施設等バーチャルガイド事業によるアイヌ文化関連施設情報の発信、新たなアイヌ工芸品の商品「アイヌ・プロダクツ」の開発、東京2020オリンピックにおけるアイヌ文化発信パフォーマンスのプログラムの披露、「イランカラプテキャンペーン」巡回展示への支援などにより、R3実績値は目標値を上回っており計画どおり進捗している。								

指標名③			R2年度	R3年度	R4年度	最終目標()	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							
設定理由								
分析（主な取組と成果）								

【総合判定】

連携状況	○	緊急性 優先性	○	指標判定	A	総合判定	順調
-------------	---	--------------------	---	-------------	---	-------------	----

翌年度に向けた 対応方針	対応方針番号	内容
	①	アイヌ民族に関する認知度やアイヌの歴史・文化に関する理解度の更なる向上のため、「北海道アイヌ政策推進方策」に掲げる施策の柱である「理解の促進」、「生活の向上」、「文化の振興」、「地域、産業及び観光の振興」、「多様な文化との交流促進」を総合的に推進する。
	②	
	③	

令和4年度 基本評価調書③	施策名	アイヌ文化の振興	施策コード	0314
---------------	-----	----------	-------	------

〈二次政策評価〉

R4年度 二次政策 評価	【施策の緊急性・優先性】 ウポポイ開業効果の活用や今後の方向性を踏まえ、効果的・効率的な執行体制の構築を進めること。
--------------------	---

二次政策 評価への 対応	ウポポイ100万人達成に向けたオール道庁でのウポポイ誘客及び開業効果の地域波及のため、関係課と連携して取り組みを進める必要があることから、兼職課長及び兼務主幹の配置を継続するとともに、アイヌ政策の推進に必要な執行体制の構築に努める。		
R5 施策の 方向性	対応方針番号	方向性	関連する事務事業 (新規・拡充)
	①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な媒体や機会を活用して、地域のアイヌ文化の魅力を発信し、また、アイヌの食文化を通じて新たな関心層を発掘し、ウポポイをはじめとした、地域のアイヌ文化施設への来訪意欲の促進を図る。 ・ アイヌの伝統工芸技術の保存・伝承に向けて、担い手育成や工芸品等の販路拡大等に取り組む。 ・ 東京2020オリンピックで披露されたアイヌ文化発信パフォーマンスをレガシーとして継承していくため、北海道アイヌ協会の取組を支援するとともに、国内外でのイベント等を通じて広く発信する。 ・ 国と連携し、アイヌ関係団体によるアイヌ文化の調査研究や保存・伝承、海外の先住民族等との交流事業等を支援する。 	新規：アイヌ文化地域振興支援事業 拡充：アイヌ文化パフォーマンス発信事業費
	②		
	③		
R5新規事業数	1		

令和4年度 事務事業評価調査	施策名	アイヌ文化の振興	施策コード	0314
----------------	-----	----------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	令和4年度							令和4年度		ACTION 結果への対応(令和5年度)		
						前年度からの 繰越事業 費(千円)	事業費 (千円)	うち 一般財源	執行体制			フル コスト (千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	次年度 方向性	二次評価意見への対応状況
									本庁	出先機関	人工計		対応 方針 番号	方向性			
1009	0309	一般	アイヌ協会補助金	アイヌの人たちの社会的・経済的地位の向上を図るため、(公社)北海道アイヌ協会が実施する事業に対して行う補助に関する業務	アイヌ政策課	0	36,682	36,682	0.7	0.0	0.7	42,131	①	改善(取組分析)	【事務事業のコスト】道からの補助金等が事業費の2分の1を超える状況であるが、道が主体的、政策的に関わっていることについては理解する。今後においても道との関係性及び活動にあたっての内容、予算等の精査に努めること。	改善	公益社団法人北海道アイヌ協会においては、自主財源である収入を増やすため、国・道からの事業の受託や、会員増加に向けた取組を進めるとともに、民間企業等からの寄付金などの支援を受けるための取組を進めているところであり、道としては、引き続き、活動内容や予算等について、同協会と協議しながら、団体の自立化を推進していく。
1013		一般	アイヌ民族文化財団事業費補助金	アイヌ施策推進法に基づき設置された(公財)アイヌ民族文化財団の補助に関する業務	アイヌ政策課	0	304,269	304,269	2.3	0.0	2.3	322,172	①	改善(取組分析)	【事務事業のコスト】アイヌ施策推進法の施行やウポボイの開設を踏まえ、本補助金の対象である普及啓発等の事業について、国及び道の役割分担の整理を行った上で国事業への移行や、事業効果の検証を踏まえた事業費の精査を確実に行うなど、必要な見直しを国に対し求めること	改善	アイヌ施策推進法が施行され、国が主体となり、全国的な視点に立ってアイヌ施策を推進することとなったことから、同法に基づく国、地方公共団体の責務に応じて、補助事業に係る国の負担割合の引き上げなどについて、国費予算要望等を行っていく。
1014		事務	アイヌ文化等の情報発信に関する事務	民間企業や関係団体等と連携して、アイヌ文化等に関する道民の理解を促進するためのフォーラムや、アイヌ文化の情報発信のあり方について検討する会議の実施、運営	アイヌ政策課	0	0	0	0.3	0.0	0.3	2,335	①	改善(取組分析)		改善	
1015		一般	アイヌ総合センター管理運営費	道立アイヌ総合センターの指定管理に関する業務	アイヌ政策課	0	10,782	10,567	0.4	0.0	0.4	13,896	①	改善(取組分析)		改善	
1011	0309	事務	アイヌ政策課総合調整等業務	道議会事務、国連宣言や国会決議に関する事務、予算決算等室内の庶務に関する事務全般及びアイヌ政策課内の事務の処理に関する事務	アイヌ政策課	0	0	0	0.4	0.0	0.4	3,114	①	改善(取組分析)		改善	
1018		一般	ウポボイ開設を促したアイヌ政策推進事業(創生交付金)	ウポボイなど道内アイヌ関連施設や地域のアイヌ文化の魅力を幅広い層に向けて各種媒体による情報発信等を行い、各地域への来訪促進など開業効果の地域波及を図るための事務	アイヌ政策課	0	152,065	76,794	1.9	0.0	1.9	166,855	①	改善(取組分析)	【施策の緊急性・優先性・事務事業の有効性】※基本評価調査③<二次政策評価>参照	改善	ウポボイ100万人達成に向けたオール道庁でのウポボイ誘客及び開業効果の地域波及のため、関係課と連携して取り組みを進める必要があることから、兼職課長及び兼務主幹の配置を継続するとともに、アイヌ政策の推進に必要な執行体制の構築に努める。
1010	0309	一般	理解促進普及啓発事業	アイヌの歴史・文化等を学ぶ機会を提供し、アイヌの人たちに関する理解を促進するための事務	アイヌ政策課	0	46,711	0	0.8	0.0	0.8	52,938	①	改善(取組分析)		改善	
計						0	550,509	428,312	6.8	0.0	6.8						